

国土交通省は、近年の土砂災害時における「避難勧告」と「避難指示」の理解が難しく、避難の遅れで大災害に見舞われたことを反省し、法律を改正。今年5月20日に施行されました。

高台自主防災会は、これを受けて、全住民を対象に、グループ・班の懇談会を実施し、新しい避難の法律について説明、ご近所の親睦と災害時の助け合いや避難場所について交流しました。

開催期間 7月10日～8月7日 開催回数 22回 参加人数 199人

グループ・班の懇談会 ご苦労様でした

改正された「土石流の避難基準」とは

法律で規定している危険な場所とは、長岡京市発行「ハザードマップ」記載の「土石流イエローゾーンと崖崩れレッド・イエローゾーン」であり、高台住宅地の約4割が該当しています。

土石流警戒レベル3 → 危険な場所から高齢者等避難

- ・第4中学校武道場、音楽室、美術室、ミーティングルーム（合計120人）、駐車場（中庭）
- ・第5小学校（170人）、長法寺小学校（140人）

上記収容人員は、コロナ禍での人数であり、終了後は3倍にするとのことです。

土石流警戒レベル4 → 危険な場所から全員避難 → 金が原地区のサイレンを鳴らす

- ・西乙訓高校体育館開設（80人）は、レベル4で必ずしも開設するものではない。市の総合的判断で高校に要請する

土石流警戒レベル5 → 命の危険・直ちに安全確保

避難場所 と 避難所 の違い



避難場所とは、災害が発生した時に一時的に逃げ込む場所

避難所とは、災害が発生し、帰宅が困難で避難生活を送る場所

懇談会で出された感想・質問・意見・要望

- ・グループ・班懇談会に参加して、近所のことがよく分かるようになった。
- ・熱海市の土石流災害をテレビで見て恐しく感じた。この地域でも線状降水帯の豪雨になれば大変
- ・金ヶ原地域での土石流災害にはどうすれば良いのか → 芦原池と金原寺池の改修計画中。 早めの避難を。
- ・第4中学校の避難駐車は中庭に限定されるが、大雨中に高齢者や子どもの徒歩移動は困難だ。
グラウンド使用はできないようだが、コロナワクチン注射の雨の場合は駐車できた。
- ・西乙訓高校避難場所の開設については請願署名の取り組みを → 14日の実績を踏まえ話し合う
- ・西乙訓高校避難場所の開設について、市は土石流避難指示（レベル4）でも、「総合的判断」と言うが、避難者は開設を待っていてはうろたえるし、災害に巻き込まれるのではないか。
- ・3丁目の裏の崖が危ない。大雨で大きな杉が倒れないか心配している → 民有地なので行政指導を要請します

- ・芦原池の近くの住宅の石垣から水が出てくるので長岡京市に対策を要請したが回答がありません
- ・金ヶ原バス停交差点に信号機設置を。南谷地域に住宅と車が増えたので危険です

防災活動について

- ・家族の変更や転入者は、家族調査票を提出してほしい → 新しい家族調査票を届けます
- ・高齢独居者は、親族間のネットワークが出来ているか → 家族間で必ず連携しておいて下さい
- ・独居老人や要支援の方々の対応はどうするのか → 家族調査票に基づいて、グループ・班で民生委員（篠山千春さん＝075-952-6667：バス通り東側）、（大崎清司さん＝075-953-3170：バス通り西側）とも相談しましょう
- ・懇談会の欠席者と温度差がある。互いの命を守りあうために協力が必要です
- ・避難する場合は、各個人からも班長に通知して欲しい → 連絡網の最後の人は班長に報告を
- ・大きな地震以外は大丈夫だから懇談会に参加しないと言う方がおられるが → この地域の特殊性を知り、災害の種類による避難方法を共有することが大切です。今は元気でもいつかは高齢や病弱になるでしょう。「元気な間の手助け」をお願いします。
- ・「全員無事です」の札を新規転入者用として追加して欲しい → 追加作成します。転入者の住所・氏名をグループでまとめて 山中（080-5359-0136）に連絡して下さい。
- ・班長交代は輪番制にしてはどうか。動きづらい高齢者は除く → 班の中で決めて下さい。
- ・体調不良のため玄関先に出られない方がおられる。どうすれば良いのか。班長としての悩みだ → 家族連絡票に記載している連絡先の方に相談して下さい
- ・40～50代の若い人が役員をしていただけたら有り難い、よろしくをお願いします。
- ・自治会のブロックは、早く防災のグループと一体化してほしい → 来春の総会で相談します

待望の西乙高校避難場所

8月14日夜11時35分に開設

8月12日～19日の

長岡京市における総雨量は、485.5ミリ。これは8月～10月の総雨量に匹敵すると発表されました。これが線状降水帯では無かったのが幸いでした。

金ヶ原地区の山には9本の溪流があり、4つの池に流入しています。大雨で山崩れが発生すると土石流になると考えられています。

* 8月14日午後4時30分に「土石流レベル3」が発表され、市の広報車が巡回しました。

高台自主防災会は、急遽 本部役員会を開催。災害時要配慮者の方々に避難の意思確認をし、全員が自宅避難を表明されたので解散。気象状況の展開によっては再度集合することにしました。

* 午後11時35分に「西乙訓高校避難場所を開設した」のメールが入り、直ちに自主防災会の役員が現地へ赴き確認しました。

課題

1. 豪雨になる前の避難が大切。西乙訓高校避難場所も「土石流レベル3」で開設してほしい
2. 「土石流レベル3」で「金ヶ原のサイレン」を鳴らし、避難または避難準備を奨励されたい
3. 車での避難は第4中学校の中庭に整然と駐車 車中泊にはグランドを開放していただきたい
4. 豪雨の場合、避難場所の夜は寒いので避難者は温かい衣類もしくは寝袋などの準備が必要

